

63 兄弟の仲直り（イ）

山羊がね、いつも産むたんびにね、三つずつ産みよつたんですね。それでもう、これはもう、こんなにしてね、山羊を産んだらね、

「これはもう山羊でないからね、早く太らして、殺して食べよう」と言つてね、殺したんですね。その中に、竹の葉ですね、それとまた、瓦ですね、それが一個あつたんです、このおつゆの中に。そして、入れてあつたからね、不思議に思っているですよ。『珍しいね、いつもはこんなにしないのに何かねえ』と思つて聞いたんですね。

そして聞いたたらね、うちのお婆さんの話が、それはね、あるところにね、昔の頃の話だけどね、兄弟が、大変仲の悪い兄弟だつたそうです。それでもう、カワラの側に弟のほうがですね、カワラの側の畑にですね、麦植えてあつたらしいんですね。そして、その麦が毎晩毎晩つめられてね、してもう、この主は怒つてです

ね、それで、

「今日はもうこれは捕まえないといけない」と言つて、棒を持つてね、行つたそうです。して、隠れていたら、この麦をつめよつたそうですね。それは本当の人ではなくて、鰻だったららしいんです。それでね、棒で殴つてね。したら、この鰻がもう死んだそうです。

でも、この殺した人がもう人と思つてね、それで、友達の家にね、

「私ね、人殺してあるからね、いつしよに行つてくれないか」と、頼みに行つたそうですね。したらあの、この人はね、もう、人殺してあつたらね、

「私、こんなものできない」と言つて断わられたそうです。友達はや。して、もうこれは自分一人では片付けることはできませんでしょう。それで、この仲の悪い兄弟のところに行つたらしいですね。

「私、もうこんなこんなだからいつしよに行つてくれないか」と言つて頼みに行つたそうです。して、頼みに行つたら、

「ああそうか、どこか」と言つて、またこの兄弟はね、行つたそうです、この畑に。

行つたら、こつちの穴から喋りよつたそうですね。

そいで、こつちで何か話があるからね、まず隠れて聞こうといつてね、隠れて聞いたたらね。これは雄だつたそうですね、この殺された鰻は。また雌が出てきてね、それで、

「もうあんた、殺されたらどうするね」と言つてね、したら、このまた、殺された鰻が、

「私ね、私、炊いて食べたらね、キーハギヤンメーつける」と言つたそうです。してね、だから、この生きている鰻がね、

「あんた、炊いて食べられてもね、竹の葉とね、瓦とね、入れて食べたらあんたはどうにもできないよ」と、そう言つたそうです。そして、その鰻は泣きよつたつて。

そいでね、これは鰻だからね、また、兄弟二人で担いで行つてね、それでみんなで食べて、竹の葉とね、瓦と入れて食べたからね、何でもなかったそうです。それから、この兄弟はね、大変仲良くなつたつて。

類話

字武富	長嶺トミ
字与座	伊敷清保
字真栄平	大城ハル
字小波蔵	奥間ヨシ、伊敷フチ子
字山城	仲門銀助、新屋タカ、新屋アキ
字大度	山城アキ、外間カメ